

平成 22 年度公募型共同研究の支援プロジェクト一覧

課題名	代表者の 所属国	プロジェクト概要	新規/ 継続
1. 全球観測システム (GEOS) のデータ統合・分析システムに基づくアジア河川管理システム開発	日本	アジア地域に置ける水循環研究をコーディネートすることを目的とし、アジア各国のデータ管理機関同士や、もしくは WMO や UNESCO のような国際機関との間で、統合データの取得・やり取りを可能とする。	新規
2. アジア水循環イニシアティブ (AWCI) に基づく、アジア太平洋地域における水資源に関する気候変動影響評価	韓国	アジア水循環イニシアティブ (AWCI) への参加を通じて、アジア太平洋地域における水資源に関する気候変動影響を評価し、能力開発を促進する。	新規
3. アジア乾燥地域における土地被覆プロセスモデルの相互比較	日本	土地被覆モデル及び土壌・植物生態系モデルを使用し土地被覆環境を予測する際の不確実性にフォーカスし、相互比較研究を通じて予測精度を高める。	新規
4. 修正 CA モデルを用いた、アジア発展途上国の都市における、土地利用変化とその食料確保への影響に関する分析	中国	様々な都市の土地利用パターン及び食料不足に繋がるメカニズムを分析する CA モデルを用いて、発展途上国 3 カ国の 3 都市において、都市の拡張及び土地利用が農業生産及び食料確保に及ぼす影響を分析する。	新規
5. 空間パラメータの温室効果ガス排出量に対する影響：中国及びインドの都市間の比較研究	オーストラリア	都市の空間構造を低炭素化するためのギャップに対処するため、都市・地区・街区レベルでの温室効果ガス排出量に関する都市空間パラメータの影響を調査する。	新規
6. アジア太平洋地域における食料確保と気候変動：食糧生産と水資源確保のミスマッチの評価	オーストラリア	コミュニティ及び天然資源の、将来予測される気候変動に起因する異常気象の増加への耐性を構築するため、中国、インド及びオーストラリアの主要地域を網羅して、食糧生物季節学と水資源確保のマッチングに係る気候変動の影響について研究を行う。	新規
7. ベトナム沿岸部における生物多様性：持続可能な成長に向けた地域的な課題及び沿岸部管理	ロシア	ベトナムにおけるサンゴ礁・熱帯生態系の多様性評価とともに、共通パターンの発見、一時的な変化とその原因の理解及び生態系・環境の将来変化の予測のための状態モニタリング手法を開発する。	新規
8. 太平洋小国における食料確保と食糧生産の生物的安全性に係る気候変動影響	オーストラリア	4 つの太平洋島嶼国における独特の食糧生産に対する気候変動の主要な影響を特定し、リスク最小化等のための戦略・政策の開発を可能にする確度の高いデータを提供する。	新規

9. 東南アジアにおける持続可能な低炭素社会の構築のための戦略的な米作	タイ	東南アジアにおける持続可能な農業に向けたエネルギー生産や長期的な土壌炭素貯留のための能力を強化しつつ、エネルギー作物の輪作に関する戦略的な米作を実践する。	新規
10. 気候リスクの長期発展計画及び防災への組み込みによる、気候変動への適応能力向上	インド	気候変動の影響に関するリスクを長期的な投資・開発計画に組み入れることを目的として、アジア3都市における異常気象に起因する災害後の短期・中期的な復興シナリオの比較研究、異常気象の開発への影響の定量化を行う。	新規
11. 気候変動への適応を見据えた地域密着型の林業・生計	ネパール	気候変動がアジア太平洋地域の林業コミュニティに及ぼす影響や、気候変動に強い家計やコミュニティ、ネットワークを可能にする適応策について研究を行う。	新規
12. 東南アジアにおける持続可能な都市の水質管理に関する研究協力：現状分析および持続可能な開発のための戦略計画の策定	韓国	東南アジアにおいて、以下に関する比較研究を行う。 ① 現状及び将来の都市拡張 ② 現状の水管理政策 ③ 都市活動及び気候変動の水質への影響 ④ 能力開発を含む戦略計画の策定	継続
13. 持続可能な利用および保全政策適応のためのボルネオにおけるフタバガキ種分布の統合予測	マレーシア	リモートセンシング、GIS 及び実測データを統合したアプローチにより、フタバガキ種の分布と保護区のギャップに関して不足している情報を補う。	継続
14. 南アジアにおける家庭園芸システムの気候変動への脆弱性及び食料確保への影響	スリランカ	生物経済モデルを用いて、南アジアにおける家庭園芸システムの気候変動影響と脆弱性の評価を行うとともに、樹木や食糧、家畜のインベントリを取得する。	継続
15. マルチリージョナルな気候モデルアンサンブルによるアジアの気候変動シナリオの構築	中国	9つの気候モデルのアウトプットを用いて、2040～2070年におけるアジアの高精度気候変動シナリオを構築する。	継続
16. 炭素固定における枯死木の役割の定量化	中国	多様なアジア森林地帯の木材の扱い、多様な土壌条件のもと、炭素固定における枯死木の役割の定量化に関する呼吸モニタリングの先進技術を適用する。	継続
17. アジアの海岸生態系：気候変動の影響評価のための「統合データベース及び情報管理システム」とその評価	マレーシア	アジアの海岸生態系の理解のため、「統合データベース及び情報管理システム」を開発する。	継続

(注) 既に支援が決定している継続案件を除く。課題名、プロジェクト概要は仮訳。

平成 22 年度 CAPaBLE（能力開発）支援プロジェクト一覧

課題名	代表者の 所属国	プロジェクト概要	新規／ 継続
1. アジア太平洋地域における気候変動への適応計画策定のための専門家及び政策立案者の科学的能力開発	タイ	UNEP のグローバル適応ネットワークのアジア太平洋各国において気候変動への適応原則及び事業を組み入れるため、当該地域における専門家及び政策立案者の能力開発を行う。	新規
2. 環礁島嶼国における地方レベルの脆弱性評価に関する理解の促進：国内におけるアプローチ及び研究の促進のための能力開発	ニュージ ーランド	太平洋環礁島嶼国の研究者に対して、低海抜の島嶼国における物理的な脆弱性の評価を実施するための実地ベースでの能力開発を行う。	新規
3. 農家の生計の危機的状況への対処：持続可能な農業の天候・気候サービスのためのツール開発	ニュージ ーランド	国際ワークショップをブラジルで行い、農家の生計に影響に与える異常気象等、世界各地域における天候・気候の危機及び不確実性を認識する。	新規
4. 海洋保護区における研究・モニタリングのための能力開発：アジア太平洋地域における気候変動への適応メカニズム	フィリ ピン	研究・モニタリングを実施し、政策立案者に対して効果的なフィードバックを行うため、フィリピン、インドネシア、タイの海洋保護区管理者の能力開発を行う。	新規
5. 地球観測システム内でのデータ共有環境の構築：アジア太平洋地域の展望	米国	研究及び主要な社会的便益の分野への適用のため、アジア太平洋地域における地球観測システムにおけるデータ共有の重要性を強調し、促進する。	新規
6. アジア太平洋地域における沿岸域の生物多様性研究のための能力開発：遺伝子マーカーを用いた藻類分類研究トレーニング	日本	各国の生物多様性保全に資する、遺伝子マーカーを用いた生物学的分析に関して、アジア太平洋地域の開発途上国の若手研究者の能力開発：遺伝子マーカーを用いた藻類分類研究トレーニングを行う。	新規
7. 先進的な気候研究プログラムへの積極的関与を通じた、太平洋島嶼国の気象データのすくい上げとデータ可視化能力の向上	ニュージ ーランド	太平洋島嶼国の気象サービスへの意識、新たな気候・気象研究イニシアティブへの関与、及びデータのすくい上げと可視化テクニックについてのトレーニングを行う。	新規
8. インド地域における農業－気候情報に関するインターネット上での「議論支援」	オースト ラリア	相互作用可能・編集可能な、インターネット上での「議論支援」ポータルを作成し、インドの主要地域における農業従事者に対して、重要な気候情報を転送・配信する。	新規

9. アジア太平洋地域における生物多様性とその保全に関する教育のための能力開発	インドネシア	学生に対して高度な訓練を実施し、生物多様性とその保全に関する高度な講座を持つための知識ギャップ、及びよく教育された地元科学者の育成へのニーズに対処する。	新規
10. 太平洋地域における地球変動及びサンゴ礁管理能力：フィジー、サモア、ツバル、トンガの科学者・政策立案者	フィジー	サンゴ礁の健康に影響する地球変動その他の影響に関して、太平洋地域の指導層への意識啓発を行う。	新規
11. アジアにおけるカーボンガバナンス：尺度と学術分野の橋架け	日本	アジア地域における若手研究者の能力開発のため、ワークショップを開催し、アジアにおける低炭素社会の構築に向けたカーボンガバナンスに向けた問題及び機会について議論する。	新規
12. 実測データ、衛星データ、数値モデルを統合した干ばつモニタリングシステムの開発	日本	多様なアジア地域諸国における干ばつモニタリングのための能力を改善し、関連書国間でのモニタリング・研究ネットワークを構築する。	新規
13. 気候変動と人々に関する学士会議	ネパール	気候変動に対処する持続可能な開発のオプションのため、多様な学術分野からの若い学生の科学的能力を開発し、ネットワーキング、意識の醸成を行う。	新規
14. カンボジア、ラオス、タイにおける廃棄バイオマスの持続可能な利用の促進－食料安全、バイオエネルギー、気候保全の便益	日本	カンボジア、ラオス、タイにおける気候変動緩和、生計、自給率のための技術的・経済的条件及び便益の観点から、有機廃棄物管理オプションの適用可能性を探る。	継続
15. 気候及び土地利用変化に最も脆弱なモンゴルの南ハンガイ山脈における牧草地システムへの乾燥地開発パラダイムの適用	モンゴル	気候及び土地利用変化に対する南ハンガイ山脈の人々の適応能力の向上を図り、乾燥地開発パラダイムに基づく政策提言を行う。	継続
16. 途上国における政策ツールとしての脆弱性マッピング	フィジー	脆弱性マッピングを通じて、気候変動に関係する脆弱性（人々の生計の維持、異常気象への対処法）について調査する。	継続
17. 農業及び水分野における気候変動への適応のメインストリーミングに関する政策研究のための能力強化	マレーシア	気候変動への適応の農業・水政策へのメインストリーミングに関する研究のための能力を強化し、アジアにおける適応政策研究のためのコンソーシアムを形成する。	継続

（注）既に支援が決定している継続案件を除く。課題名、プロジェクト概要は仮訳。